



# 「こころ学」創生の取り組み

## —— 連携研究プロジェクト紹介 ——

京都大学こころの未来研究センターでは、平成19年度～平成21年度にかけて、こころの“個”の側面にかかわる「こころとからだ」、「社会性」の側面にかかわる「こころときずな」、「精神性」の側面にかかわる「こころと生き方」という3領域を設定し、多彩な学際的研究プロジェクトを実施してきました。

これらの成果を受け、平成22年度から、こころの知の探究、実践と社会発信、研究者コミュニティの形成、若手研究者育成の4つの取り組みを軸とする、総合的な新学問領域である「こころ学」の創生を目指しています。

従来の3領域を基盤にしつつ、特に重点的に研究を進めるテーマとして

「こころ観」「負の感情」「発達障害」「きずな形成」「現代の生き方」「自然とからだ」を設定し、脳科学、心理学、宗教学、倫理学、民俗学など異領域をつなぐ学際的な連携研究プロジェクトを推進しています。

連携研究プロジェクトは、こころの未来研究センターのスタッフが主導する「教員提案型連携研究プロジェクト」に加え、外部研究者が主導する「一般公募型連携研究プロジェクト」があります。

いずれにおいても、学内外の研究者、実践家と当センターのスタッフが密接にかかわり、学際的研究を進めています。  
(平石 界)



「こころ学」の創生

\* 研究プロジェクトは本誌第7号でも紹介しています。